



第6回 地域の絆をつくる
防災コンテスト

e防災マップ



水の自遊人しんすいせんたいアカザ隊

タイトル	平成21年豪雨を忘れないために 私たちにできること(剣川堰堤調査)
対象災害	土砂災害
地域	山口県 防府市
作品概要	平成21年の豪雨災害の時幼稚園年長だった子どもたちが、災害を語り継ぐために剣川砂防堰堤を専門家と調査した。山のこと、堰堤の働きなど学んだ。どんな言葉よりも目の前の土石流の跡は説得力があった。伝える手段を絵本と決めて、自分たちが忘れない、語り継ぐことを決意する。継続している物語である。(物語の中で次世代の育成も盛り込んだ)砂防堰堤・堆積工などの説明を加えた。専門家の声は調査当日の言葉である。
作品・活動PR	広島での豪雨の映像を見て防府豪雨を思い出したお母さん。当時幼稚園年長の子どもにはその記憶はない。被災箇所を訪れ感じることで、災害を語り継ぐ。自分の言葉探しの活動。言葉をつむぐ手伝いは、地質の先生と山口県職員。山を作る石のこと、建設された砂防堰堤の話。簡単に割れた花こう岩。現地を感じてほしくて石は拾って帰った。この石を使って、絵本を作ることにした。触れる絵本。絵本にするのは難しいけれど、多くの人に伝えるために作りたい。 子ども達が自分で感じて、自分の言葉で語る。 現場の石を持ち帰り、語るためのアイテムにする。 被災から2年後に調査した先輩に話を聞いた。 行政(防府土木)地域の地質の先生を巻き込んだ。



脚本1



脚本2

聴覚障害者防災学習会



剣川砂防堰堤ウォーク



剣川砂防堰堤
調査のまとめ



剣川砂防堰堤調査

第6回防災コンテスト(主催:国立研究開発法人防災科学技術研究所
2016年3月19日発表ポスター)

